

汽水域国際シンポジウム 2007

汽水域の再生とその持続可能性

- 宍道湖・中海の賢明な利用にむけて -

International Symposium

Restoration and Sustainability of Estuaries and Coastal Lagoons

- Towards the Wise Use of Lakes Shinji and Nakaumi -

January 26-28, 2007 Matsue, JAPAN

開 催 案 内

2007年1月26日(金)～28日(日)

松江 くにびきメッセ国際会議場

主催：汽水域国際シンポジウム 2007 実行委員会・島根大学汽水域研究センター・
島根大学汽水域重点プロジェクト

共催：日本陸水学会・応用生態工学会・(社)日本水環境学会中国四国支部・日本生態学
会中国四国地区会・日本地質学会西日本支部・島根県地学会・水と生命研究会

後援：国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所・環境省中国四国地方環境事務所米子自
然環境事務所・島根県・鳥取県・松江市・(財)しまね産業振興財団・日本土木学
会中国支部島根会

汽水域国際シンポジウム 2007

汽水域の再生とその持続可能性

- 宍道湖・中海の賢明な利用にむけて -

International Symposium on the Restoration and Sustainability
of Estuaries and Coastal Lagoons

- Towards the Wise Use of Lakes Shinji and Nakaumi -

January 26-28, 2007 Matsue, JAPAN

開催主旨：

40年に及ぶ干拓・淡水化事業が中止となった宍道湖・中海では、劣化した湖沼生態系の再生が急務となっています。集水域の水環境は徐々に改善され、沿岸帯の修復も開始されています。さらに、2005年秋には両湖ともにラムサール条約の登録湿地となり、美しく豊かな汽水環境を後世に引き継ぐための新たな展開が期待されています。

今回のシンポジウムでは、インド、タイ、ニュージーランドから研究者をお招きし、チリカ湖、ソクラー湖、パウアハタヌイ河口域での再生に関する事例をお聞きするとともに、宍道湖・中海の保全・再生を目指している島根・鳥取両県の地域の方々やNPO、企業、行政の方々にそれぞれの活動について報告していただき、さらに島根大学で進めている重点プロジェクト「汽水域の自然・環境再生研究拠点形成プロジェクト」の研究成果の発表を行います。

宍道湖・中海の保全・再生と賢明な利用のための活動や調査を進めている様々な主体が一堂に会するこのシンポジウムをきっかけに、宍道湖・中海の保全・再生と賢明な利用のための協働が進み、島根・鳥取両県の一層の連携が深まることを期待します。

日程：

2007年1月26日（金）宍道湖・中海バス見学（参加については別途募集します）

2007年1月27日（土）公開シンポジウム（同時通訳付）

研究発表・事例報告（ポスター発表）、企業展示

2007年1月28日（日）公開シンポジウム

研究発表・事例報告（ポスター発表）、企業展示

会場：くびきメッセ国際会議場（松江市）

参加費（資料代）：1,000円（当日申し受けます）

汽水域国際シンポジウム 2007 のスケジュール

1月26日(金) 宍道湖・中海の植生湖岸，宍道湖自然館ゴビウス，米子水鳥公園，中浦水門
撤去工事現場などの見学を予定（参加については別途募集します）

1月27日(土)

- 9:00- 受付開始
9:00-10:00 ポスター発表及び企業展示準備
10:00-11:30 ポスター発表・展示
11:30-12:30 昼休み
12:30-13:00 開会式（来賓挨拶，主催者主旨説明）
13:00-14:00 基調講演（前チリカ開発公社代表（インド）Ajit Pattnaik）
「湖と沿岸域のプロセスと地域住民の活動を統合した沿岸域ウェットランドの再生と持続的な管理 - チリカ湖の事例 -」
14:00-15:00 招待講演 1（ソクラー大学自然資源学部準教授（タイ）Chanchai Thanawood）
「ソクラー湖における土地利用の変化とその影響」
招待講演 2（地質・核科学研究所チームリーダー（ニュージーランド）Karyne Rogers）
「ニュージーランドにおける河口域の効果的な再生のための法令と指針の概要」
15:00-15:15 休憩
15:15-16:45 汽水域重点プロジェクト発表パート1（6題）
16:45-17:00 休憩
17:00-18:00 汽水域重点プロジェクト発表パート2（4題）

18:30-20:30 歓迎パーティ

1月28日(日)

- 9:00- 受付開始
9:30-11:30 企業口頭発表（20件程度）
11:30-12:30 ポスター発表・展示
12:30-13:30 昼休み
13:30-15:30 島根・鳥取両県のNPO，漁協，自治体研究所などの活動・事例報告
15:30-15:45 閉会式（実行委員長挨拶）

実行委員会：

國井秀伸（委員長，島根大学汽水域研究センター）・野中資博（島根大学生物資源科学部）・石賀裕明（島根大学総合理工学部）・湯浅丈司（国土交通省出雲河川事務所）・板倉宏文（島根県環境生活部）・越川敏樹（島根県立宍道湖自然館）・田中伸和（島根県水産技術センター）・三木文貴（鳥取県総務部）・南條吉之（鳥取県衛生環境研究所）

準備委員会：

相崎守弘・森也寸志・國井秀伸・瀬戸浩二・堀之内正博・倉田健悟・ラジェンドラン,N.・若林健二・桑原智之・高田裕行・荒木 悟・都筑良明・香月興太・大林夏湖・山田和芳・程木義邦・中山大介・糸原 保

ポスター研究発表・事例報告・企業展示を募集します！

2007(平成 19)年 1 月 27 日(土)・28 日(日)に、松江くにびきメッセで開催される標記の国際シンポジウムでは、ポスターによる研究成果の発表と活動事例の報告、ならびに技術・機器紹介等の企業展示のためのスペースを設けます。今回、企業展示には口頭による 5 分間のアピールタイムを設けています。

研究成果・活動事例ポスター発表

ポスター発表要項

- ・ポスター発表用スペースは 1 件当たり W=90cm,H=200cm の専用ボードです(添付用の専用テープは準備委員会が用意します)。
- ・ポスター発表料は、参加費(一人 1000 円;当日受付)に含まれます。
- ・会場でのポスター貼付は 27 日(土)の 9:00-10:00 をお願いします。展示会場については会場配置図を参照してください。
- ・ポスター発表は 27 日(土)の 10:00-11:30 と 28 日(日)の 11:30-12:30 の 2 回です。発表後、ポスターは 28 日(日)の閉会式終了まで展示可能です。閉会式終了後、直ちに回収願います。

申し込み方法

- ・12 月 8 日(金)までに別紙「ポスター発表申込書」に発表者氏名・所属、題目、代表者連絡先を記入の上、メールあるいは FAX で島根大学汽水域研究センターまで申し込んでください。

要旨執筆要項

- ・別紙「要旨執筆参考例」を参考にして要旨を作成して下さい。活字は、日本語は明朝体、英語は Century とします。
- ・本文スペース(図、写真を含む)は A4 版 1 ページ(11 ポイント、40 字 x35 行)に収まるようにして下さい。題目、発表者名+所属、メールアドレスをまず中央揃いで書き、そのあと 1 行空けて本文を開始して下さい。
- ・発表題目と発表者名+所属については英文も併記して下さい。

要旨原稿締め切り

- ・12 月 20 日(水)必着で、メールの添付ファイル(MS-WORD 形式)で島根大学汽水域研究センター(別記)まで送ってください。添付ファイルとは別に、メール本文中にテキストファイルもお願い致します。ハードコピーの郵送も受け付けますが、FAX は不可です。図・写真等は原稿中に貼り付けてください。郵送の場合は、縮小サイズを明記してください。

企業展示

展示要項

- ・展示スペースは(1.8 x 1.2m)が基本的な広さです。持ち込み機器等、展示の概要について、申し込みの際にお知らせください。

- ・テーブルなどは実行委員会が用意しますが、特殊な展示機材、床シート（必要な場合）などは各社でご用意ください。
- ・会場には AC100V 電源はありますが、LAN 用情報コンセント、電話コンセントはありません（会場配置図参照）。
- ・展示準備は 1 月 27 日の 9:00-10:00 にお願いします。

展示料

- ・ 1 展示スペースにつき 30,000 円を指定の口座（別記）に 12 月 22 日（金）までに振り込んでください。

申し込み方法

- ・ 12 月 8 日（金）までに別紙「企業展示申込書」に企業名、担当者名、連絡先、展示の概要、必要スペース数について記入の上、島根大学汽水域研究センターにメールまたは FAX で送ってください。

広告原稿締め切り

- ・ 要旨集に企業広告を掲載しますので、そのまま印刷に回せる原稿（A4 1 枚以内でマージンは 2.5cm 以上）を 12 月 20 日（水）（必着）までに郵送してください。

切再確認

ポスター発表申し込み > 12 月 8 日（金）まで「ポスター発表申込書」をメールか FAX で

ポスター発表・要旨原稿 > 12 月 20 日（水）必着 メールか郵送で

企業展示申し込み > 12 月 8 日（金）まで「企業展示申込書」をメールか FAX で

企業広告原稿 > 12 月 20 日（水）必着 郵送で

企業展示・展示料振り込み > 12 月 22 日（金）まで 指定口座振り込み

申込書送り先（ポスター発表・企業展示）

e-mail: kisui@soc.shimane-u.ac.jp

FAX: 0852-32-6099

要旨送り先（原稿郵送の場合及び企業広告原稿）

690-8504 松江市西川津町 1060 島根大学汽水域研究センター内
汽水域国際シンポジウム 2007 係

振込先（企業展示）

山陰合同銀行島大前支店（支店番号：100） 普通口座 番号：3684283

口座名義：汽水域国際シンポ 2007 代表 國井秀伸

（キスイイキコクサイシンポニセンナナ）

問い合わせ先

島根大学汽水域研究センター（汽水域国際シンポジウム 2007 事務局）

福原（TEL: 0852-32-6099, e-mail: fukuhara@soc.shimane-u.ac.jp）

または國井（TEL: 0852-32-6439, e-mail: kunii@soc.shimane-u.ac.jp）

要旨執筆参考例

宍道湖・中海生態系の特徴とその賢明な利用と再生

Characteristics of aquatic ecosystem of Lakes Shinji and Nakaumi
and its wise use and restoration

(1行空け)

國井秀伸 (690-8504 松江市西川津町 1060 島根大学汽水域研究センター)

Hidenobu Kunii (Research Center for Coastal Lagoon Environments,
Shimane University, Matsue 690-8504, Japan)

kunii@soc.shimane-u.ac.jp

(1行空け)

- ・活字のポイントは 11 ポイントですが、題名だけは 12 ポイントのボードとして下さい。
- ・日本語は明朝体、英語は Century を基本とします。
- ・マージンは上下左右ともに 3cm として下さい。
- ・メールアドレスと本文の間を 1 行空けて下さい。
- ・句読点は「、」と「。」を用いて下さい。
- ・題名等を含めて 1 ページ (40 字 35 行) に収まるように作成して下さい。
- ・本文は日本語とします。
- ・その他、不明な点は國井までメールでお尋ねください。

汽水域国際シンポジウム2007ポスター発表申込書 (E-mail あるいは FAX.0852-32-6099)

| | |
|-----------------|------------------------------|
| 氏名・所属 (英文併記) | |
| 題目 (英文併記) | |
| 希望分野 | 1. 調査・研究成果の発表 2. 活動の報告 |
| 代表者の連絡先 | 〒 E-mail: Tel: Fax: |

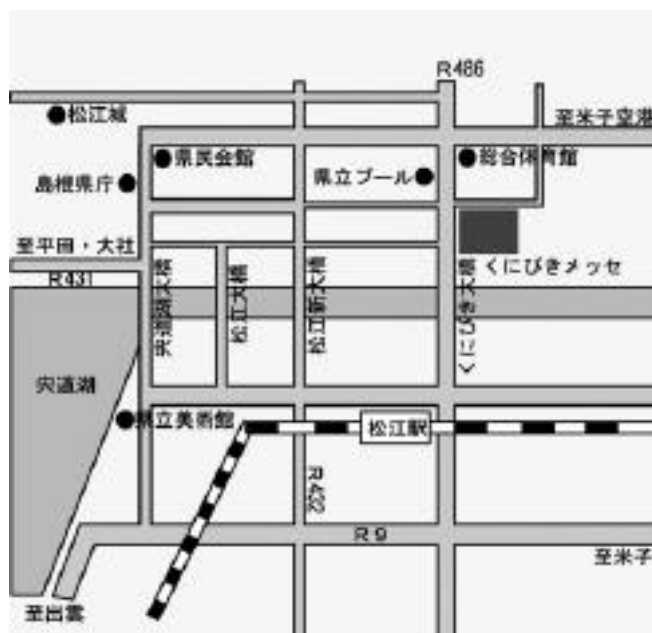
汽水域国際シンポジウム2007企業展示申込書 (E-mail あるいは FAX.0852-32-6099)

| | |
|---------------------|--|
| 企業(グループ名) (英文併記) | |
| 展示の概要 | (例: 観測機器展示, 新技術展示, 会社概要紹介, など) |
| 希望スペース数 | (1つのスペースは1.8×1.2mで, スペースごとに30,000円の展示料金がかかります) |
| 担当者氏名 連絡先 | 〒 E-mail: Tel. (可能ならば携帯電話): Fax: |
| 特別の要望その他 | (例: 100V 電源使用希望, など) |

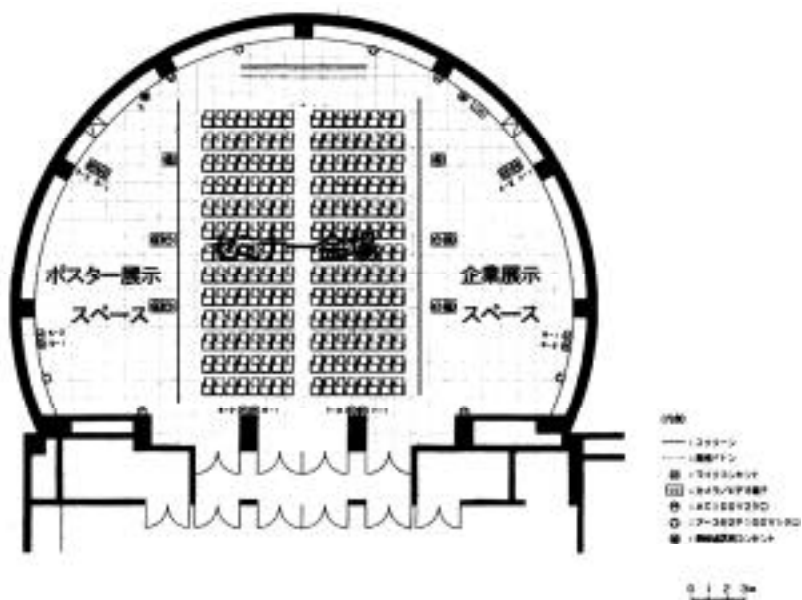
(ポスター発表で企業展示を行うことはできませんが, 2つをそれぞれ申し込むことは可能です)

会場アクセス図（松江駅からは徒歩約10分ほどです）

詳しくは <http://www.joho-shimane/cc/messe/> をご覧ください。



くにびきメッセ国際会議場配置図



国際シンポジウムに関する情報は、汽水域研究センターのHPにも掲載されています。

(<http://www.kisuiiki.shimane-u.ac.jp>)